

[様式 1]

令和 5 年度 三好市立学校評価報告書

学校名(東祖谷小学校)

作成日 令和6年3月15日

校長名(辺見 俊二)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.7	①経営方針の明確化、コンプライアンス推進への取組状況については評価基準4を達成することができた。	①小中連携して教育活動に取り組んでいるので、今後も引き続き一層小中での連携を強めて教育活動を推進してもらいたい。	①なお一層円滑な学校経営・学校運営が行えるよう、教職員の資質向上を推進するとともに、保護者・地域と教育方針の共通理解を図り、信頼される学校づくりをめざしていく。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	4.0	②学校教育目標やナンバーワン・スクールの具現化と実践、ステップアップ・スクールの実践、創意ある教育課程の編成、学校行事の精選・充実等、全ての評価項目において、評価基準4を達成することができた。	②学校だよりやホームページ等を通して、教育方針や教育活動を知ることができている。今後も、東祖谷小中学校ならではの取組を進めていってほしい。	②児童・生徒数の減少により学校行事や教育活動の意義を見直して精選に努め、小中連携を強めた東祖谷小中学校ならではの教育活動を展開していく。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.8	③わかる授業の実践、学力向上、道徳教育、人権教育及び健康・安全教育の取組の評価項目においては、評価基準4を達成することができた。	③主要な教育活動に対して、概ね肯定的な回答を得ている。「知・徳・体」のバランスが取れた教育活動を今後も続けてほしい。	③全ての教育活動の中核に人権教育を位置付け、小中連携して「知・徳・体」のバランスが取れた児童の育成をめざす。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.8	④地域行事やボランティア活動への参加、PTA活動の活性化に向けた取組、他校や異校種間との連携強化への取組等の評価項目において、評価基準4を達成することができた。	④奉仕活動を始めたPTA活動や学校行事、ボランティア活動に保護者や地域の方々の積極的な参加もあり、学校と保護者、地域間にはしっかりと協力体制ができている。	④引き続き、学校と家庭、地域間の連携・協力体制を強固にし、地域と共に子どもを育てていく教育活動を実践していく。
⑤ その他、上記以外に関する評価()	3.7	⑤ICT機器の活用、特別支援教育の取組等の評価項目において、評価基準4を達成することができた。	⑤子どもたち一人一人にとって、安全で安心できる学校であってほしい。ICT機器を積極的に教育活動に活用してほしい。	⑤なお一層、全ての子どもたちにとって安心・安全で居場所のある学校づくりを推進していく。授業や他校との交流場面等、ICT機器の活用をさらに進めていく。

- (1) 評価基準については、次の通りとする。
- 評価基準 4＝達成度が 90～100 %
3＝達成度が 70～ 90 %
2＝達成度が 50～ 70 %
1＝達成度が 50% 未満

- (2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の1～5の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。
- (3) 総括評価の「評価分野」及び分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。
- (4) 分野別評価の「自己評価結果の概要」欄については、特に評価が 4 及び 1 について記入する。
- (5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会において評価された結果をまとめたものを記入する。
- (6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。